

## 健康づくり推進計画の指標管理（いきいき健康づくり・総合計画・総合戦略による評価項目）【R3年度実績】

「健康づくり推進計画」に関する指標について、【指標】令和3年度確定【目標値】R5年度またはR3年度【目標値に対する傾向】を以下のとおり報告します。  
 なお【目標値に対する傾向】は、目標値に対して達成している項目を【◎目標達成】、平成24年度（総合計画・総合戦略は令和元年度）から令和3年度に改善傾向の項目を【○改善】、低下傾向の項目を【△低下】と評価しています。

### 1. いきいき健康づくり

#### (1) 食生活分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R2年度	R3年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R3値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナ関連△低下)
1 幼児(肥満傾向の子どもの割合)※肥満度15%以上	5.1%	5.9%	6.3%	減少傾向	△ 1歳6か月児および3歳児健診でリーフレット、成長曲線を用いた保護者へ健康教育や園行事等を活用し、肥満予防対策を強化する。
2 適正体重を維持している人の割合					
3 小学校4年生(肥満傾向の子どもの割合)※肥満度20%以上	男性5.7% 女性7.2%	男性10.2% 女性6.1%	男性11.5% 女性11.4%	減少傾向	男性△女性△ 学校と連携して該当児童の心理面に配慮しながら指導を行うとともに、保護者や祖父母にもむけた意識付けや啓発活動を行っていく。
4 中学校1年生(肥満傾向の子どもの割合)※肥満度20%以上	男性5.9% 女性11.8%	男性13.7% 女性11.7%	男性10.3% 女性10.7%	減少傾向	男性△女性○ 学校と連携して該当生徒の心理面に配慮しながら指導を行うとともに、保護者にむけた意識付けや啓発活動を行っていく。
5 40～64歳(BMI25以上)の人の割合	男性25.3% 女性17.9%	男性34.3% 女性21.1%	男性32.8% 女性21.5%	男性22%以下 女性15%以下	男性△女性△ 健診での質問票から読み取れる食行動に着目し、個々の習慣や嗜好に応じた生活改善を働きかけるとともに、各講座において多世代に啓発活動を行う。
6 低栄養傾向の高齢者(BMI20以下の割合)	21.7%	20.4%	21.0%	26%以下	◎
7 幼児	93.0%	96.8%	95.4%	100%	○
8 小学校	89.1%	92.0%	98.0%	100%	○学校と連携して児童や保護者への食育の充実を図る。
9 中学校	88.3%	87.0%	96.0%	100%	○学校と連携して児童や保護者への食育の充実を図る。
10 20代	57.1%	65.1%	—	85%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
11 30代	77.4%	87.5%	—	85%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
12 40～60代	85.1%	89.7%	—	90%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
13 ほぼ毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる人の割合	63.7%	61.5%	—	80%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
14 ごはんを中心とした日本型食生活につとめている人の割合	80.2%	79.5%	—	85%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
15 共食を心がけている保護者の割合(幼児)	81.9%	96.5%	96.0%	90%以上	◎
16 学校給食における地元産農産物を使用する割合(重量割合)	26.2%	26.1%	36.4%	40%以上	○関係部署や生産者と連携し更なる向上を図る。
17 健康づくり支援店の数	22店舗	28店舗	28店舗	30店舗以上	○県の登録制度終了。(R3実績値を持って最終値)
18 食育に関心のある人の割合	72.6%	74.4%	—	90%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
19 食育の推進に関するボランティア数	124人	140人	176人	150人以上	◎
20 喫煙者の割合	16.7%	12.8%	—	12%以下	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
21 定期的に歯科検診を受ける人の割合(20歳以上)	33.2%	42.4%	—	40%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
22 12歳児の1人平均むし歯本数(永久歯)	0.67本	0.19	0.27	0.35本以下	◎

#### (2) 運動・スポーツ分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R2年度	R3年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R3値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナ関連△低下)
22 健康運動教室継続者数	1,432人	1,232人	1,203人	1,800人以上	△ 健康アンバサダーの活用や地域コミュニティや各種団体と連携を図り参加者の増加を図る。
23 スポーツ施設の利用者数	165,814人	120,576人	143,502人	175,000人以上	●新型コロナウィルス感染拡大以降、目標値には届いていないものの回復傾向にある。今後も感染予防策を講じながら利用者の増加を図る。

#### (3) 生きがい分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R2年度	R3年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R3値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナ関連△低下)
24 悠々ライフ参加延べ人数	4,835人	3,258人	2,931人	7,000人以上	● 新型コロナウイルスの影響により行事が出来ず減少した。コロナ感染者状況をみながら、行事数を増やし参加人数の増加を図る。
25 市民活動・ボランティア連絡協議会加盟団体活動者の数	1,789人	1,668人	1,722人	2,100人以上	△ 高齢化等により、加入団体の構成員が減少傾向。未加入団体へ新規加入を促し、人数の増加を図る。
26 ストレスや不安を感じても、元気になる人の割合 ※感じない人を含む	79.2%	83.3%	—	80%以上	※健康アンケート R3年度は未実施(隔年実施)
27 自殺者(自殺率)の減少(10万人当たり)	26.6	38.5	18.0	22.9以下	◎

#### (4) 健(検)診分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R2年度	R3年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R3値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナ関連△低下)
28 国保特定健診	50.6%	44.9%	49.0%	60%以上	△ R2年度のコロナ禍による減少から改善傾向が見られるが、引き続き受診勧奨を行い受診率向上を図る。
29 胃がん検診	18.9%	21.9%	32.9%	40%以上※1	○ 感染症対策、検診日程確保、機を捉えた受診勧奨等に努め、R2年度のコロナ禍による減少から改善傾向。
30 大腸がん検診	28.9%	44.9%	53.2%	40%以上※1	◎ 感染症対策、検診日程確保、機を捉えた受診勧奨等に努め、R2年度のコロナ禍による減少から改善傾向。
31 肺がん検診	42.4%	45.8%	54.2%	50%以上※1	◎ 感染症対策、検診日程確保、機を捉えた受診勧奨等に努め、R2年度のコロナ禍による減少から改善傾向。
32 子宮頸がん検診	13.7%	25.3%	41.9%	50%以上※2	○ 感染症対策、検診日程確保、機を捉えた受診勧奨等に努め、R2年度のコロナ禍による減少から改善傾向。
33 乳がん検診	14.9%	31.1%	47.3%	50%以上※1	○ 感染症対策、検診日程確保、機を捉えた受診勧奨等に努め、R2年度のコロナ禍による減少から改善傾向。
34 国保 特定保健指導率	38.1%	41.4%	41.5%	60%以上	○
35 国保 ムネロッキングルームの該当者・予備群者減少率(平成20年度と比較)	35.3%	31.6%	27.0%	37%以上	△ 特定健診の受診勧奨を推進し、該当者の早期発見と特定保健指導につなげ改善を図る。
36 高血圧有病率(140/90mmHg以上の割合)	29.8%	35.3%	31.5%	減少	△ コロナ禍のR2年度以降、増加傾向。医療の受診控えや体重増加等の状況が把握されており、適正医療、生活習慣改善、家庭血圧測定定着等により改善に努める。
37 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者のうち、HbA1cがJDS値7.0%以上(NGSP値の場合7.4%以上)の割合 治療中、治療なしに分けて集計	治療中16.2% 治療無26.3%	治療中23.8% 治療無19.2%	治療中34.4% 治療無29.6%	減少	△ コロナ禍以降、R3年度増加。医療の受診控えや体重増加等の状況が把握されており、適正医療、生活習慣改善等により改善に努める。

※1 がんの目標値は40歳以上70歳未満の受診率

※2 子宮がんの目標値は20歳以上70歳未満での受診率

2. 総合計画・総合戦略等の指標

指標	基準値 (R1年度)	R2年度	R3年度 実績	目標値 (R5年度)	備考:目標値に対する R1値→R3値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナ関連△低下)
38 ①刈谷田川フェスティバル参加者数	1,400人	0人(新型コロナにより中止)	1,000人	1,400人以上	●コロナ対応により午後1時までの開催だったため、参加人数は1,000人だったが、時間短縮をせずに開催した場合は、目標値に達する見込み。
39 ②設備投資応援補助金の申請件数(3年間の累計)	24件 ※H27-R1:5か年 ※R1は6件	3件	4件	18件 ※R3-R5:3か年	●コロナにより設備投資を行う事業者が減少した。現在は、設備投資に前向きな企業も出てきており、今後はこれまで以上に事業のPRIに努め、目標の達成に努める。
40 ③進出企業交流会の開催数	2回	0回(新型コロナにより中止)	0回(新型コロナにより中止)	2回	●コロナにより止む無く中止とした。R4年は既に1回開催しており、今後感染拡大が落ち着けば、目標を達成できる見込み。
41 ④学校給食における地元産農産物を使用する割合(重量割合)	35.5%	26.1%	36.4%	40%以上	○
42 ⑤交通事故件数(1.1~12.31)	53件	39件	28件	50件以下	◎
43 ⑥自主防災組織の組織率	94.0%	94.0%	94.0%	100%	○ 未結成町内に対して、自主防災組織や、補助金制度についての説明会を開き、自主防災組織の結成を呼びかける。
44 ⑦1人1日あたりのごみ排出量	869g/日	875g/日	870g/日	850g/日以下	△ 生ごみ等の燃えるごみの減量が課題で、生ごみの水分除去や分別排出など、年度ごとに重点とする減量対象や市民へのアプローチ手法を変えることで市民理解を深めて排出量減を目指す。
45 ⑧温室効果ガス(CO2)排出量	372千t (H25年度)	320千t (H30年度)	350千t (R1年度)	292千t以下	○ 新エネルギー導入促進事業補助金の周知や事業所への啓発、エコアクション等を通じ、地球温暖化対策を啓発するよう努める。 ※環境省公表「自治体排出量カルテ」の統計情報の制約上、算出及び公表は2年遅れ。
46 ⑨自分の住んでいる地域が好きな子どもの割合	94.0%	95.0%	96.0%	90.0%	◎

	指標数(46指標)	R3評価状況
◎ 目標達成	9.0	24.3%
○ 改善傾向	12.5	33.8%
● 新型コロナ関連	5.0	13.5%
△ 低下傾向	10.5	28.4%
— 未評価	37.0	100.0%
— 未評価	9.0	

※「男女別(指標2、3、4)」、「治療中・無(指標37)」の2種類で指標管理する項目は、それぞれ0.5でカウントしています。

計:約71.6%

R3は健幸アンケート未実施年のため「未評価」が9指標ありますが、前回(R2:71.7%)と同程度で推移しています。